

令和4年度 福岡県立北筑高等学校CAN-DOリスト(普通科1年)

科目名	英語コミュニケーション I / 論理・表現 I					
期間		前期(4月～9月)		後期(10月～3月)		
領域	観点	CAN-DO	自己評価	CAN-DO	自己評価	評価
SPEAKING (やり取り)	①	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら教師の発問に対して答えることができる。	A B C D	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら英語で意見を交換することができる。	A B C D	評価シート 観察
	②	「Keynote1」や「Mainstream I」で学習した表現を活用し、自分の意見を相手に理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、2者間で相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を述べるができる。	A B C D	「Keynote1」や「Mainstream I」で学習した表現を活用し、自分の意見を相手に理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、2者間で相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を理由とともに述べるができる。	A B C D	評価シート 観察
	③	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、聴いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を理論の構成や展開を工夫して話して伝え合おうとすることができる。	A B C D	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、聴いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を理論の構成や展開を工夫して話して伝え合おうとすることができる。	A B C D	評価シート 観察
SPEAKING (発表)	①	「Mainstream I」や「Evergreen」で学習した文法項目を用いて、あるテーマに関する自分の意見を、理由を述べながら50語程度で発表することができる。	A B C D	「Mainstream I」や「Evergreen」で学習した文法項目を用いて、あるテーマに関する自分の意見を、理由を述べながら80語程度で発表することができる。	A B C D	テスト 評価シート
	②	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、話して伝えることができる。	A B C D	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えることができる。	A B C D	テスト 評価シート
	③	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、話して伝えようとするができる。	A B C D	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとすることができる。	A B C D	テスト 評価シート
WRITING	①	与えられたテーマに関して、構文や熟語を利用した文章を、定められた時間内に70語程度の英語で書くことができる。	A B C D	与えられたテーマに関して、構文や熟語を利用した文章を、定められた時間内に90語程度の英語で書くことができる。	A B C D	WS
	②	「Blue Marble I」で学習した内容に関して、自分の意見や考えを、理由を述べながら70語程度の英語で書くことができる。	A B C D	「Blue Marble I」で学習した内容に関して、自分の意見や考えを、理由を述べながら90語程度の英語で書くことができる。	A B C D	WS
	③	読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、理論の構成や展開を工夫して書いて伝えようとするができる。	A B C D	読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、理論の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて書いて伝えようとすることができる。	A B C D	WS 課題
READING	①	英検準2級レベルの英文を65WPMで読むことができる。	A B C D	英検準2級レベルまたはGTEC Basic相当レベルの英文を75WPMで読むことができる。	A B C D	テスト 観察
	②	「Blue Marble I」の英文に関して、初読の段階で知らない語彙や表現があっても、ある程度の内容を理解し、正誤問題に答えることができる。	A B C D	「Blue Marble I」の英文に関して、初読の段階で知らない語彙や表現があっても、かなり性格に内容を理解し、正誤問題に答えることができる。	A B C D	WS
	③	世界の国々や社会的な問題について書かれた説明文を主体的に読んで、概要や要点を捉えようとするができる。また、内容を把握した文章を流暢に音読できる。	A B C D	世界の国々や社会的な問題について書かれた説明文を主体的に読んで、概要や要点を捉えようとすることができる。また、内容を把握した文章を流暢に音読できる。	A B C D	観察 課題
LISTENING	①	「Blue Marble I」の英文に関する正誤問題を、初読を行った後に2回聞き、その英語を書き取って、正しく答えることができる。	A B C D	「Blue Marble I」の英文に関する正誤問題を、初読を行った後に1回聞き、その英語を書き取って、正しく答えることができる。	A B C D	WS
	②	ネイティブが話す標準的なスピードの英語を聞いて、概要や要点を把握することができる。	A B C D	ネイティブが話す標準的なスピードの英語を聞いて、要点を把握し、内容を正確に理解することができる。	A B C D	テスト 考査
	③	ネイティブが話す標準的なスピードの英語を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとすることができる。	A B C D	ネイティブが話す標準的なスピードの英語を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとすることができる。	A B C D	テスト

『評価』欄の表記について

◆テスト:小テスト・パフォーマンステストなど ◆考査:定期考査・課題確認考査など ◆観察:言語活動の観察 ◆WS:ワークシート ◆評価シート:相互評価・自己評価シート ◆課題:各種課題

観点	評価の内容
①知識及び技能	小テスト、定期考査、課題確認考査など、言語活動の観察
②思考力・判断力・表現力等	パフォーマンステスト(インタビュー、作文、レポート、スピーチ、ディスカッション、ディベートなど)、定期考査
③学びに向かう力・人間性等	粘り強く学習に取り組もうとする態度、自らの学習を調整しようとする態度(ノートやワークシート等における記述、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価など、課題に対する取り組み)

自己評価 A :80%以上の達成 B :50%以上の達成 C :30%以上の達成 D :30%以下の達成

CEFR-B1(実用英語技能検定準2級程度) * CEFRの日本語表記は、ブリティッシュ・カウンシルのWebサイトより引用

ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係のある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事例について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。

令和4年度 福岡県立北筑高等学校CAN-DOリスト(普通科2年)

科目名		コミュニケーション英語Ⅱ / 英語表現Ⅱ				
期間		前期(4月～9月)		後期(10月～3月)		
領域	観点	CAN-DO	自己評価	CAN-DO	自己評価	評価
SPEAKING (やり取り)	①	教師の発問に対して、答えだけでなく、理由を述べながら、2文以上で応答できる。	A B C D	5名程度のグループでディスカッションを行い、英語で意見を交換することができる。	A B C D	WS 観察
	②	「Vision QuestⅡ」で学んだ表現を活用し、場面を想像しながら、2者間で簡単なやり取りを1分以上行うことができる。(ペア)	A B C D	「Vision QuestⅡ」で学んだ表現を活用し、場面を想像しながら、グループ間でのやり取りを行うことができる。	A B C D	観察
	③	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、学んだ表現を活用しながら、話して伝え合おうとすることができる。	A B C D	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、学んだ表現を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとすることができる。	A B C D	評価シート 観察
SPEAKING (発表)	①	「Vision QuestⅡ」で学習した文法項目を用いて、あるテーマに関する自分の考えを、理由を述べながら50語以上で発表することができる。	A B C D	「Vision QuestⅡ」で学習した文法項目を用いて、あるテーマに関する自分の考えを、理由を述べながら80語以上で発表することができる。	A B C D	テスト 評価シート
	②	「LANDMARKⅡ」の英文を読み、そのテーマに関するトピックについてグループでディスカッションし、クラス全体に英語で発表できる。	A B C D	「LANDMARKⅡ」を学習した後で、そのテーマに関するトピックについて、自分の意見や感想を原稿を見ずに50語以上で発表することができる。	A B C D	テスト
	③	事前に十分な準備と練習をし、正しい発音・アクセントに留意し、内容を伝えることを意識しながら、プレゼンテーションをすることができる。	A B C D	事前に十分な準備と練習をし、正しい発音・アクセントに留意し、アイコンタクトやジェスチャーを効果的に交えながらプレゼンテーションをすることができる。	A B C D	評価シート 観察
WRITING	①	与えられたテーマに関して、構文・熟語を利用した文章を、定められた時間内に100語程度で書くことができる。	A B C D	与えられたテーマに関して、構文・熟語を利用した文章を、定められた時間内に120語程度で書くことができる。	A B C D	WS
	②	「LANDMARKⅡ」で学習した内容に関して、自分の意見や考えを100語程度の英語で書くことができる。	A B C D	「LANDMARKⅡ」で学習した内容に関して、自分の意見や考えを理由を述べながら、120語程度の英語で書くことができる。	A B C D	WS
	③	与えられたテーマに沿って100語程度の英文を書き、自分で見直し、訂正箇所を発見することができる。	A B C D	与えられたテーマに沿ってできるだけ辞書を使わずに120語程度の英文を書き、自分で見直し、訂正箇所を発見して訂正することができる。	A B C D	WS
READING	①	英検準2級レベルの英文を90WPMで読むことができる。	A B C D	英検2級またはGTEC ADVANCED 相当レベルの英文を90WPMの速さで読むことができる。	A B C D	テスト 観察
	②	「LANDMARKⅡ」の英文に関して、初読の段階で知らない語彙や表現があっても、ある程度の内容を理解し、正誤問題に答えることができる。	A B C D	「LANDMARKⅡ」の英文に関して、初読の段階で知らない語彙や表現があっても、かなり正確に内容を理解し、正誤問題に答えることができる。	A B C D	WS
	③	自ら正しい発音・アクセントに留意し、内容を伝えることを意識しながら、英文を音読することができる。	A B C D	自ら正しい発音・アクセントに留意し、内容を伝えることを意識しながら、自然の流れで英文を音読することができる。	A B C D	テスト
LISTENING	①	「LANDMARKⅡ」の英文に関する正誤問題を、初読を行った後に2回聴き、正しく答えることができる。	A B C D	「LANDMARKⅡ」の英文に関する正誤問題を、初読を行った後に1回聴き、正しく答えることができる。	A B C D	WS
	②	ネイティブが話す標準的なスピードにおいて、要点を把握することができる。	A B C D	ネイティブが話す標準的なスピードにおいて、要点を把握し、内容を正確に理解することができる。	A B C D	テスト 考査
	③	生徒が行ったプレゼンテーションの内容を聞き、内容をある程度理解した上で、適切な評価活動を行うことができる。	A B C D	生徒が行ったプレゼンテーションの内容を聞き、内容を正確に理解した上で、適切な評価活動を行うことができる。	A B C D	評価シート 観察

『評価』欄の表記について

◆テスト:小テスト・パフォーマンステストなど ◆考査:定期考査・課題確認考査など ◆観察:言語活動の観察 ◆WS:ワークシート ◆評価シート:相互評価・自己評価シート

観点	評価の内容
①知識及び技能	小テスト、定期考査、課題確認考査など、言語活動の観察
②思考力・判断力・表現力等	パフォーマンステスト(インタビュー、作文、レポート、スピーチ、ディスカッション、ディベートなど)、定期考査
③学びに向かう力・人間性等	粘り強く学習に取り組もうとする態度、自らの学習を調整しようとする態度(ノートやワークシート等における記述、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価など、課題に対する取り組み)

自己評価 A :80%以上の達成 B :50%以上の達成 C :30%以上の達成 D :30%以下の達成

CEFR-B1(実用英語技能検定準2級程度) * CEFRの日本語表記は、ブリティッシュ・カウンシルのWebサイトより引用

ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係のある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事例について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。

科目名		コミュニケーション英語Ⅲ / 英語表現Ⅱ				
期間		前期(4月～9月)		後期(10月～3月)		
領域	観点	CAN-DO	自己評価	CAN-DO	自己評価	評価
SPEAKING (やり取り)	①	教師の発問に対して、答えだけでなく、理由を述べながら、2文以上で応答できる。	A B C D	相手の発表を聞いて、質問や意見を即興的に2文以上で述べるができる。	A B C D	WS・観察
	②	プレゼンテーション形式で述べられた意見に対し、自分の意見や感想を理由を述べながら言うことができる。	A B C D	プレゼンテーション形式で述べられた意見に対し、反対の立場から反論することができる。	A B C D	テスト・WS
	③	生徒間で主体的に、内容語・機能語を意識して音声学上の音のつながりやリダクションに精通し、決められた英文を音読しあう。(ペア)	A B C D	生徒間で主体的に内容語・機能語を意識して音声学上の音のつながりやリダクションに精通し、比較的短いセリフや歌を発話することができる。	A B C D	評価シート・観察
SPEAKING (発表)	①	「Prominence3」のテーマ別の話題に関して指定された内容を調べ、グループ内でまとめ1分程度のプレゼンテーションできる。	A B C D	「Prominence3」のテーマ別の話題に関して指定された内容を調べ、グループ内でまとめ2分程度のプレゼンテーションできる。	A B C D	テスト・WS
	②	教科書の内容に関してretelling や自分の意見や感想を理由を述べながら、発表できる。	A B C D	教科書の内容に関してretelling や自分の意見や感想、理由を内容や音声面に留意しながら述べながら、発表できる。	A B C D	テスト・課題
	③	Prominence3」のテーマ別の話題に関して指定された内容を調べ、分析や考察さらには解決策をペア・グループで話しあうことができる。	A B C D	Prominence3」のテーマ別の話題に関して指定された内容を調べ、分析や考察さらには解決策をペア・グループで話しあい、自ら整理してまとめることができる。	A B C D	評価シート・観察
WRITING	①	教科書の内容に関して、自分の意見や感想を、極力辞書を使わずに、教科書の表現を利用して書くことができる	A B C D	教科書の内容に関して、自分の意見や感想を、辞書を使わずに、教科書以外の表現で書くことができる。	A B C D	テスト・WS
	②	効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、複数の段落で書くことができる。	A B C D	効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、序論・本論・結論など複数の段落で書くことができる。	A B C D	テスト・課題
	③	100語程度の自由英作文を書き、自分で見直し、訂正箇所を発見することができる。	A B C D	与えられたテーマに沿って、電子辞書を極力使わずに、200語程度の文章を書き、自分で見直し、訂正箇所をある程度発見し訂正までできる。	A B C D	WS・課題
READING	①	テーマ別の英文に関して、それぞれの基礎知識と使用される語句を習得し、内容を大まかに理解できる。(100WPMの速さで読める。)	A B C D	テーマ別の英文に関して、それぞれの基礎知識と使用される語句を習得し、内容を性格に理解できる。(110WPMの速さで読める。)	A B C D	テスト・考査
	②	自分の興味関心のある内容に関して、ある程度の長さの英語の記事や論文を辞書なしで理解することができる。	A B C D	なじみのない内容に関して、ある程度の長さの英語の記事や論文を辞書なしで理解することができる。	A B C D	テスト・考査
	③	自ら正しい発音・アクセントに留意し、内容を伝えることを意識しながら、英文を音読することができる。	A B C D	自ら、正しい発音・アクセントに留意し、内容を伝えることを意識しながら、自然の流れで英文を音読することができる。	A B C D	テスト
LISTENING	①	ネイティブが話す標準的な速さのスピードにおいても要点を把握し、ほぼ内容を理解することができる。	A B C D	ネイティブが話す標準的な速さのスピードにおいても要点を把握し、内容を理解することができる。	A B C D	テスト・考査
	②	馴染みのない話題に関しても要点を把握しながら内容を理解することができる。	A B C D	ディベート・プレゼンテーションにおいて、論点や要点だけでなく、文章単位で理解することが容易にできる。	A B C D	テスト・考査
	③	生徒が行ったプレゼンの内容を聞き、内容を理解した上で適切な評価活動までできる。	A B C D	生徒が行った比較的長いプレゼンの内容を聞き、内容を理解した上で適切な評価活動までできる。	A B C D	評価シート・観察

『評価』欄の表記について

◆テスト:小テスト・パフォーマンステストなど ◆考査:定期考査・課題確認考査など ◆観察:言語活動の観察 ◆WS:ワークシート ◆評価シート:相互評価・自己評価シート ◆課題:各種課題

観点	評価の内容
①知識及び技能	小テスト、定期考査、課題確認考査など、言語活動の観察
②思考力・判断力・表現力等	定期考査、パフォーマンステスト(インタビュー、作文、レポート、スピーチ、ディスカッション、ディベートなど)
③学びに向かう力・人間性等	粘り強く学習に取り組もうとする態度、自らの学習を調整しようとする態度(ノートやワークシート等における記述、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価など、課題に対する取り組み)

自己評価 A :80%以上の達成 B :50%以上の達成 C :30%以上の達成 D :30%以下の達成

CEFR-B1(実用英語技能検定2級程度) *CEFRの日本語表記は、ブリティッシュ・カウンシルのWebサイトより引用

仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいる時に起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。